

高商連ニュース

高商連2017「幹部学校」50人参加で楽しく



9月9日(土)・10日(日)に、「高商連2017年幹部学校」を、婦人会館と高知民商会館で開催し、50人の役員・事務局員の参加がありました。

東谷会長が、「幹部学校で学び交流し、転換期の情勢を切り開き、秋の運動を成功させる力にしましょう」と開校挨拶。

1日目は中田進さんを講師に、①「安倍内閣の暴走と国民の暮らし・平和」、②「倉敷民商弾圧事件とは何か」、



2日目は、東谷会長の「基本方向」、入江事務局長の「規約」、森共済会理事長「民商・全商連共済会」の講義と全商連作成DVDを視聴しての学習。午後からは、3つ



③「民商運動・役員の結果役割」をテーマに学習講演。ユーモアあふれ内容豊かな公園は大好評。(感想文を参照ください)

*講演DVDを作成しますので、ご希望の方は民商事務局まで連絡ください。

夜の湯の川温泉(高知市)での懇親会には26人が参加。美味しい料理と飲み放題で楽しくにぎやかに交流しました。



<参加者感想文より>

- ・中田先生の話をはじめて聞かせていただきましたが、テンポよく、何がだめで、どうすればよいのかがとてもわかりやすかったです。「拡大の数字は気にしながら気にしないで」目標はかかげて明るく楽しく活動をする。その通りですがなかなか難しいです。(香美郡)
- ・倉敷民商弾圧事件について、このたたかいをひとり民商だけのたたかいにせず安倍政権の徴税強化、社会保障の切り捨てに反対するすべての団体個人とともに戦争法反対、財界擁護反対のたたかいと結合させてたたかうことが今求められている。税理士法違反で民商弾圧、生活保護費の不正受給でその他団体や個人の日常を監視しつつ組織破壊が虎視眈々と狙われている。秘密保護法により権力の情報は秘匿され、マイナンバーなどで個人情報丸裸。刑事訴訟法、盗聴法の改悪で警察権限は強化の一途、さらに共謀罪強行で監視弾圧社会へ、これを阻止する大闘争。個人の意見が言えなくなる社会になるのが怖い。(高知)
- ・分散会で、後継者問題、配達集金、拡大行動での人集め等、各民商共通の課題で話し合いました。全商連の方向性に合致した外へ打って出る活動、SNS等の積極的活用、なんでも相談会の定期開催等に取り組んでいきたいと思っています。あとはきれいな事務所、会員さんが立ち寄りやすい場所にしていこう。新しいDVDは次回理事会で視聴しよう。(仁淀川)
- ・なんでも相談会を1回目終了して引き続き続けてやっていくという気持ちが強くなりました。それは東谷会長の挨拶の中にもなんでも相談会を民商でやってみようという言葉にいただきうれしく思いました。また、分散会の中でも中村民商船口会長からも、なんでも相談会を開くという発言がありました。非常にうれしく思いました。今後共香美郡民商あおぞら道場なんでも相談会を続けていきたいと強く思いました。(香美郡)
- ・秋の運動では「集まる」ということを一つの目標にしています。集まることで話もできるし、顔も見えるし、動きにつながると思っています。また事務所前掲示板やブログでの情報発信、宣伝カーでの街宣も積極的に行っていきます。会員拡大を今しないと未来はないのでがんばります。(中村)
- ・自分としても共済で動くことが多かったが民商としての訪問活動にも時間が合えば参加せいかんと自覚した。(南国)
- ・内外へ民商を知らせていく事、会員には民商運動とは何なのかを訪問対話を続けていく中で知らせることの必要性があるのではないかと思います。(高知)

の分散会に分かれて討議と交流をしました。

閉会全体会では、3名の方から分散会報告がありました。「各民商の取り組みをいろいろ聞いた。民商は平和などの旗を掲げて素晴らしい活動をしている。学習を生かし活動しよう。民商を好きな会員を増やそう」(鍵山さん・香美郡)。「後継者問題が討論の一つになった。拡大しても集金が大変な役員もいる。事務局として安心して拡大できる組織作りをしていきたいといけない」(山岡・高知)。「退会希望者を訪問対話して今は

自主的に会費を持参するようになった話を聞いてすごいと思った。共済加入率80%もよろしくお願ひします」(森さん・南国)。

県婦協から片山副会長が、「全国業者婦人決起集会に高知から10人参加します。56条廃止署名と参加者派遣カンパに協力を」訴えました。

「中田さんの素晴らしい講演、分散会での活発な討議など、充実した2日間の幹部学校でした。今回学んだことを力に、秋の運動も頑張ります」と、東谷会長が挨拶し閉校しました。

